

山陽小野田市健康づくり推進協議会議事録

会議の種類	平成25年度第2回山陽小野田市健康づくり推進協議会		
日時	平成25年10月10日(木) 19:00~20:30		
場所	小野田保健センター		
出席者	小野田医師会	松岡 彰 (会長)	
	山陽小野田市社会福祉協議会	沖野 浩 (副会長)	
	厚狭郡医師会	中根比呂志 (委員)	
	小野田歯科医師会	多原康成 (委員)	
	厚狭歯科医師会	嶋田 修士 (委員)	
	山陽小野田薬剤師会	野村茂正 (委員)	
	山陽小野田市ふるさとづくり協議会	杉本保喜 (委員)	
	山陽小野田市自治会連合会	藤田正人 (委員)	
	山陽小野田市連合女性会	井上幸子 (委員)	
	山陽小野田市小・中学校PTA連合会	河村和彦 (委員)	
	山口宇部農業協同組合	笹木伸子 (委員)	
	山口県看護協会小野田支部	中村由美子 (委員)	
	山口県栄養士会宇部地域専門部会	坪河 蓉子 (委員)	
	一般公募	曾瀬 護 (委員)	
	一般公募	原田 静江 (委員)	
	(出席者数 15人)		
欠席者	山陽小野田市老人クラブ連合会	笹尾新太郎 (委員)	
	山陽小野田市母子保健推進協議会	吉田由美子 (委員)	
	山陽小野田市食生活改善推進協議会	半矢幸子 (委員)	
	山口県歯科衛生士会小野田支部	新藤悦子 (委員)	
	(欠席者数 4人)		
オブザーバ	山口県宇部健康福祉センター	山崎千鶴代	
事務局	健康福祉部長 田所 栄	健康増進課長 兼	本 裕子
	健康増進課技監 山根 愛子	健康増進課課長補佐	木本 順二
	健康増進課課長補佐 河野 静恵	成人保健係係長	石井 尚子
	健康企画係係長 岡村 敦子	健康企画係主事	竹森 和貴

1. あいさつ	健康福祉部長あいさつ
2. 新委員紹介	
3. 議 事	
議 委	(1) 第4回SOS健康フェスタについて 資料1(SOS健康フェスタ概要)の説明 SOS健康フェスタについて質問、意見等ないか。 フェスタのチラシは10月15日以降に配布するということによろしいか。
事 務 局	はい。ポスターについてもPRをお願いしたい。
委 員	このポスターとチラシはステーションにも届くか。
事 務 局	はい。
議 長	チラシの配布は10月15日以降でよろしくをお願いしたい。
委 員	ポスターを自治会の掲示板に貼るのももらえないか。
事 務 局	準備させて頂く。
議 長	他に意見等ないか。今年度は去年の500人の倍の人数である1000人を目標としているので御協力をお願いしたい。
議 委	(2) 食育に関する市民意識調査アンケートについて 資料2・3・4(食育市民意識調査アンケート)の説明 意見、質問等ないか。 アンケート項目の21番で「どのような食育体験を希望しているか」を聞いているが、希望が多い食育体験については今後実施していく予定はあるか。
事 務 局	現在のところは予定していない。
委 員	NPOやボランティアで食育体験を実施している団体があるので、これらをインターネット等を活用して市民に紹介するというのも必要だと思う。子供たちがどのようなことに関心を持っているのかを把握し、紹介することが大切。
議 長	アンケートの21番は前回のアンケートの際にもあったのか。
事 務 局	はい。
議 長	アンケートの配布数は1500人で妥当か。
事 務 局	はい。前回と同じ枚数である。
委 員	アンケートの23番に「ねたろう博士を知っていますか?」という問いに対して、「知っているが、ねたろう食育博士になりたいとは思わない」という項目があるが、「何故なりたくないと思わないのか」という自由記載の項目を加えてはどうか。
委 員	アンケートに自由記載を加えることは難しいのではないか。 ねたろう食育博士を多く養成したいのであれば、この機会を利用して何故食育博士になりたくないのかを調査することは大切だと思う。自由記述であるため、書かないという選択もできるから取り入れても良いのではないか。

委員	回答者の本音を聞くことができれば大変すばらしいと思うが難しいのではないか。
議長	現在、ねたろう食育博士は何名いるのか。
事務局	約200名である。
事務局	現在、2日間講習を受講しなければ、ねたろう食育博士にはなれない。ねたろう食育博士の講習のカリキュラムを考えていくにあたってどうすればより多くの市民の方々に参加して頂けるのかという部分について皆様の御意見を頂きたい。
委員	講座はどこで実施しているのか。
事務局	主に厚狭と小野田の保健センター2か所で実施している。
委員	試験については別日に実施されるか。
事務局	同じ日に実施する。講義だけでなく、植物を植える、調理実習等の体験も取り入れた2日間の講習である。講習が2日間に渡ることによって参加しにくいという意見もある。
委員	受講料はかかるのか。
事務局	調理実習による昼食代として1,000円かかる。
議長	栄養士会から何か意見等ないか。
委員	現在、ねたろう食育博士養成講座は夏休みが始まってすぐに実施をしているが、この時期の子供たちは他の企画やイベントがたくさんある。このため、ねたろう食育養成講座に2日間使うことは難しいのではないか。
委員	講座の開催時期、場所、日数等もう一度しっかり考えていただきたい。
事務局	ねたろう食育博士養成講座の開始当初は半日を4回で実施していたが、この期間を2日間に改善したという経緯がある。
委員	「博士」という言葉がつくので、誰でも簡単に食育博士になれるというよりは、時間をかけて勉強した人が食育博士になれるという形にした方が権威が生まれ、人気も出るのではないか。
	いかに子供たちが興味を持って参加してもらえるかが重要と思う。開始時期は先ほども話が出たが、夏休みのはじめではなく、中旬もしくは終盤に実施し、親子での参加を促すことが必要ではないか。
議長	今回のアンケートをしっかりと分析して今後の活動に役立ててほしい。
事務局	来年度のねたろう食育博士の内容については、次回以降の健康づくり推進協議会までに案を考えてくるので、またご意見等頂きたい。
議長	歯科医師会から意見等ないか。むし歯について、だらだら食事をするのが良くないということだが、食べ方や間食に関するアンケート項目はないか。
事務局	大人用アンケートの11番が関連している。
委員	子ども用アンケートには間食に関する項目がないのはなぜか。
委員	小学校等で実施した別のアンケートと調査項目が重なら無いようにするためである。
議長	他に意見等あるか。

議 長	<p>(3) SOS健康づくり計画の中間見直しについて(意見交換)</p> <p>資料5・6(SOS健康づくり計画の中間見直し)の説明</p> <p>SOS健康づくり計画の中間見直し時期が来て、今回事業ごとに目標値を設定したことが大きな変更点である。山陽小野田市の高齢化率は全国平均よりも高い。高齢者が増加し、子供が減少し、人口ピラミッドの形も変化しており高齢者を支える人々が減少している現状がある。これらを踏まえて何か意見等ないか。</p>
事 務 局	<p>SOS健康づくり計画は10年計画ということで、5年前にワークショップを実施し市民の皆様と一緒に作成した経緯がある。SOS健康づくり計画を作成した当初は健康づくりに関しては目標値を設定しないという方向性が決まっていた。しかし、今回の中間評価アンケートの結果、5年前と大きな変化がなかったということが分かった。このため、今回の中間見直しの時点で課題と目標値を加えるという大きな変更を</p>
議 長	<p>してはどうかという提案について、皆様の御意見等を頂きたい。</p> <p>この会議で御意見を頂き、庁内組織あるいはSOSかたつむりでいこう会等で協議したものを最終的にはパブリックコメントを経て、後期計画を作成していくという過程になっている。</p>
委 員	<p>計画当初に目標値を設定していない理由は何か。</p> <p>健康づくりという課題はテーマとして大変範囲が広く、目標を設定しにくいと思う。しかし、目標を設定して取り組みを実施した方が良い結果に繋がると感じる。健康づくり推進協議会の活動は素晴らしいが、実施している事業等の認知度はまだまだ低い。健康体操などをさらにいろいろな場所で実施していけば良い。</p>
事 務 局	<p>厚狭地区は若い人が少ない。地区ごとで取り組み、住民一人一人が健康維持の努力しなければならない。自分たちから健康になろうという思いを住民が持てるような取り組みを実施して欲しい。健康づくりはテーマが大きいですが、目標を設定して達成度を数値で確認できるということは良いと思う。</p> <p>通常、市の健康づくり計画は国、県の健康づくり計画を基に作成する。本市の当初の活動計画を作成するにあたっては、国や県の計画に捉われ過ぎず、山陽小野田市独自の健康づくり計画を作成したいという経緯があったと把握している。この5年間でSOSかたつむりでいこう会を中心に健康フェスタ等の健康づくりに関する取り組みは大きく広がってきているが、山陽小野田市の健康づくり計画というとらえ方をしたときに、市民活動だけではない行政が担うべき課題があるという考え方のもと、今回の中間見直しの時点で目標値の設定が必要ではないかと感じ、提案させて頂いた。</p>
委 員	<p>がん検診の受診率は現在20%弱であるが、目標設定が50%となっている。今までの5年間でがん検診の受診率は増加しているのか。</p>
事 務 局	<p>がんの受診率は微増である。</p> <p>健康づくり計画の中で目標を設定し、達成を目指すという方向性についてご意見等を頂きたい。</p>

委員	今回の目標値は大きな目標のように感じるが、今までの5年間と何か違う取り組み等を考えているか。
事務局	今までも計画の中に目標値がなかったというだけで受診率向上等、健康づくりに対する様々な取り組みを実施してきている。
議長	SOS健康づくり計画に目標値を設定することに反対の意見はあるか。健康に対する市民の意識改革につながるように、それぞれの団体が協力し、共通目標を持って山陽小野田市の健康づくりにつなげていきたい。ぜひ行動に移して頂きたい。
事務局	今回の目標値の設定は計画の主旨を変更するものではなく、成果を可視化して分かり易くするためである。
議長	他に意見等ないか。
委員	少子高齢化に対して本市の対策はどのようなものがあるか。
事務局	転入促進条例による固定資産税の減税等の取り組みがある。
委員	婚活も実施している。
事務局	この度、若者交流会も実施している。
議長	結婚しないと子供を作ることはできない。市全体が協力して取り組むべき課題である。看護協会から意見等ないか。
委員	育児をしながら、仕事を続けることができるような環境整備は行っている。
議長	SOS健康づくり計画に目標値を設定することは決定で良い。行政から何か質問等ないか。
事務局	今回目標値設定を提案させて頂いたが、設定した数値の妥当性を確認して頂きたい。
委員	がんは早期発見が非常に大切である。がんの受診率は50%が目標値となっているが、根拠はなにか。
事務局	国の目標値である。
委員	無料クーポンの配付は今後も続くのか。
事務局	無料クーポンは国の補助事業である。
委員	特定保健指導は6%を60%にするとなっているが根拠は何か。
事務局	国の目標値である。
委員	目標値が「増やす」となっている項目があるが、これは現段階でも効果が出ているため継続していけるように努めるという解釈の仕方で良いか。
事務局	そのとおりである。
委員	おきよう体操については小学校、自治会等の運動会で実施してもらってはどうか。
事務局	厚狭地区の市民運動会ではおきよう体操を実施した。
委員	SOSおきよう体操の「おきよう」に意味はあるのか。
事務局	3年ねたろう君を起こそうという意味での「おきよう」である。
委員	SOSおきよう体操については、老人クラブ、自治会連合会、連合女性会等でも実施していければ良いと思う。
事務局	「あけぼの」へ約2週間の体操指導へ行き、朝の体操でSOSおきよ

<p>委員 事務局</p>	<p>う体操を実施してもらう等の普及活動に取り組んでいる。 SOSおきよう体操のDVDはあるか。 解説付きCDはある。 食生活改善推進員さん等の活動をとおしてもSOSおきよう体操の普及に取り組んでいく。</p>
<p>議長 委員 委員 事務局 委員</p>	<p>その他について意見等ないか。 自殺について何か取組等があるか。 電話相談窓口がある。 市にも電話相談の窓口がある。 住民がいつでも相談できるという意識が持てるように周知してほしい。</p>
<p>オブザーバー</p>	<p>SOS健康づくり計画があり、目標を立て、組織で協力をして目標を達成しようとすることは大変良い。ただし、数値目標にとらわれ過ぎることなく、大きな目標である「市民の健康づくり」を目指して取り組んでいくことが大切だと思う。本市の健康づくり推進協議会の意見を市の取り組みに反映させるという仕組みは大変素晴らしいと思う。せっかくの機会なので、市民の代表の方にも何か御意見いただけると良い。</p>
<p>委員 委員 議長</p>	<p>皆様のお話を聞いて健康づくりをますます頑張っていかなければならないという気持ちになった。 SOSのかたつむりで行こう会はボランティアで実施している。目標値を設定されることはプレッシャーにも感じるが、目標があるのだから達成に向けて頑張っていきたいと思う。 本市の伝統である様々な団体が協力をして健康づくりに取り組んでいくという仕組みを今後も継続させていきたいと思う。</p>
	<p>次回開催予定 2月27日（木曜日） 19時00分～ 小野田保健センター</p>